

危険を過小評価するな!

2009年8月

2008年12月、大学院生が大学の研究室で作業をしていた。彼女は約2オンス(60ml)のt-ブチルリチウムを他の容器に移そうとしていた。t-ブチルリチウムは、空気に触れるとすぐに発火する自燃性物質である。その学生は移し替え操作について十分な訓練を受けておらず、適切な着衣や保護具を身に付けていなかったことが、最初の事故調査で判明した。t-ブチルリチウムはこぼれて、学生にはねかかり、発火し、着衣を燃やした。彼女は酷いやけどをし、数週間後に亡くなった。



大量の引火性物や毒物を保有する工場で働いていると、少量取り扱われる物質の危険性を過小評価するかもしれない。殆どのプラントでは、サンプルを採取し、分析ラボに運ぶ必要がある。多くのプラントには、プラントの作業員が品質管理

テストを行うプラント内の分析ラボがあり、この作業では少量の物質を取り扱う。ラボテストでは、プラント内の他の処では全く扱わない化学物質を用いる必要があるかもしれないし、これらの物質の危険性に詳しくないかもしれない。**少量の危険物であっても、重傷、大損害、さらには死亡事故を引き起こすことがあるのを覚えておくこと。**

あなたにできること

- たとえ少量でも、自分が扱うすべての化学物質の危険性を心得ておくこと。プラント内の品質管理ラボで少量しか使われない化学物質でも忘れてはならない。
- 少量しか扱わない物であっても、全ての危険物に注意を払うこと。
- プラントでの全てのサンプリング操作や、サンプルを安全に採取し、運搬するのに必要な全ての特殊な器具の使用法について、十分に訓練されていることを確かめること。
- 取扱う危険物から自分を護るためには、どんな種類の保護着や保護具が必要か理解しておくこと。そして、ラボで作業する場合も含め、必要な保護着や保護具**全てを常に使用すること。**
- 化学物質を扱う場合には、安全シャワーや洗眼器のような緊急設備の場所、使用方法を心得ておくこと。
- サンプル採取に必要な容器、サンプルを運ぶのに適切な運搬容器を常に使用すること。
- ラボにサンプルを運んだとき、資格のあるラボの人に渡したか、彼らは正しいラベリング法を含めサンプル容器の中身を知っているかを確認する手順を、自分が守っていることを確かめること。

危険な化学物質は僅かな量でも危険 !

AIChE © 2009. 不許複製. 非営利的な教育目的のための複製は奨励する。ただし、再販目的のための複製は、CCPS以外のいかなる者に対しても禁止する。コンタクト先: ccps_beacon@aiche.org or 646-495-1371

Beaconは通常、アフリカ、アラブ、中、デンマーク、オランダ、英、フランス、ドイツ、ギリシャ、グジャラート、ヘブライ、ヒンディー、ハンガリー、インドネシア、イタリア、日、韓、マレー、マラティー、ノルウェー、ベルシャ、ポーランド、ポルトガル、ロシア、スペイン、スウェーデン、タミール、タイ、トルコ、ベトナム。の各言語で入手可能